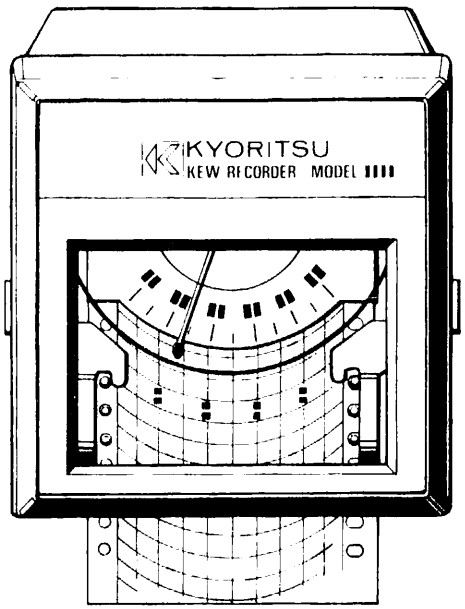
取扱説明書



超小型記録計

キューレコーダ

1チャンネル	MODEL 5350・5351
2チャンネル	MODEL 5360・5361

世界120数ヵ国に広く市場をもつ共立は、永年の豊富な経験と実績に基づき世界各国のニーズをここに結集しました。
使用性・信頼性は勿論のこと、より高い安全性への世界的転換傾向のなかで、〝万が一の操作ミスによってでも人体に危険を及ぼさない〟をモットーに、特に安全性には充分留意した設計です。

修理について

本体がショック等で破損しない様、充分な梱包を施して下記にご送付ください。

●〒152 東京都目黒区中根２－５－20
共立電気計器㈱国内営業部
電話(03)723-0131㈹
(03)723-7021～2(直通)

代理店

92-1142

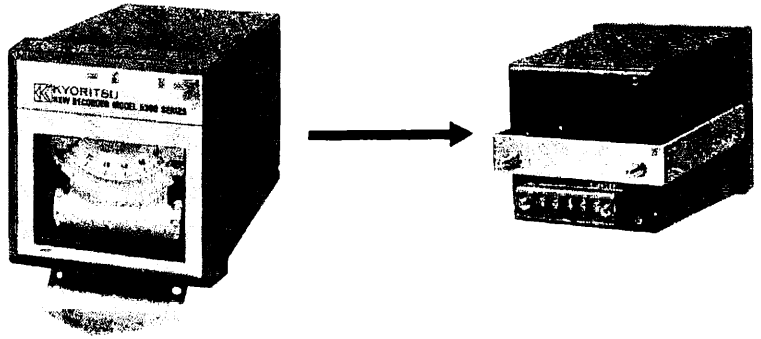
共立電気計器株式会社
本社：東京都目黒区中根2-5-20 〒152 ☎03(723)0131
本社営業部 ☎03(723)7021・7022(直通)
工場：東京・宇和島・愛媛(JIS表示許可工場)
大阪営業所：大阪市西区北堀江3-10-22 〒550
シティライフ有馬2F ☎06(535)0078
愛媛営業所：愛媛県東宇和郡宇和町大字坂戸駄場480
〒797-03 ☎08946(2)1171

目次

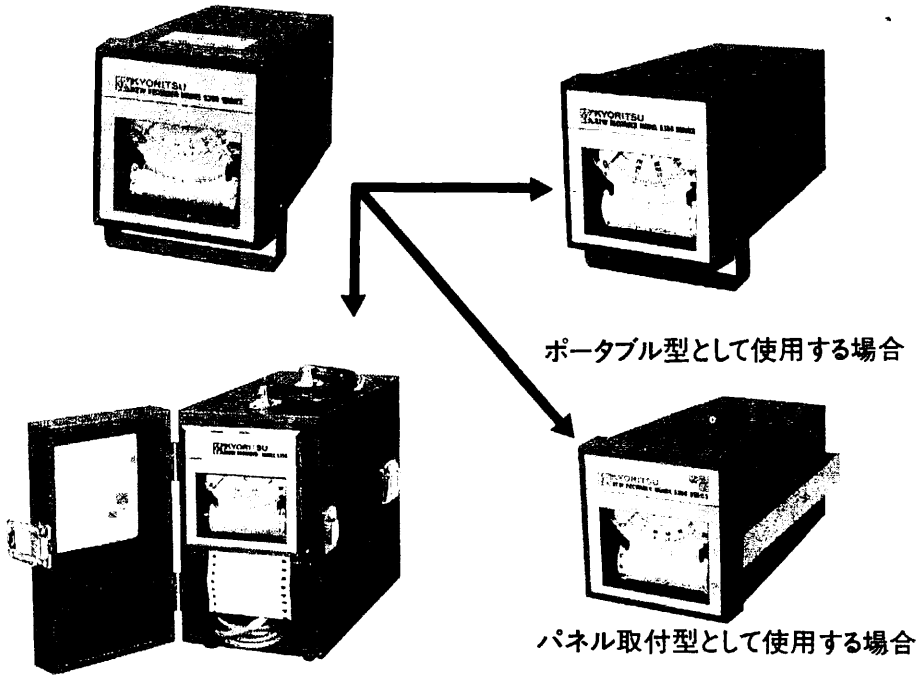
1．外観……1
2．特長……2
3．標準仕様……3
4．各部名称……7
5．内部部品名称……8
6．寸法および取付け……9
7．測定準備……11
8．配線及び測定方法……19
9．別売アクセサリー……30
10．ユニットの接続方法……34
11．スケール板の交換方法……36
12．記録紙……40

1.外観

MODEL5350/5360レコーダー単体



MODEL5351/5361ユニット付レコーダー



ポータブル型として使用する場合

パネル取付型として使用する場合

携帯ケース付で使用する場合

2.特長

本記録計は、DINサイズ(96×96㎜)タイプの超小型、軽量、かつ低価格の記録計です。

- パネルへの取付けはDINサイズパネルメータと同様で、取付け穴寸法は92×92㎜です。
- スケール交換が容易にできるため、様々な入力に対応できます。
- 記録紙は50㎜幅を使用し、交換はカセット方式で、着脱が容易です。
- 記録方式はメータ指針による感圧打点方式で、インクなどの交換は必要ありません。
- 本体は、1チャンネルタイプ(MODEL-5350)と2チャンネルタイプ(MODEL-5360)の2種類です。
- 本体にユニットを取付けることにより、各種入力に対応できます。ユニットには下記の6種類が用意されています。(標準1mA/250mVタイプに取付可能)

本　体	ユニットモデル名	名　称
M-5350 (1チャンネル用)	M-5307	6レンジ温度ユニット(Pt-100型)
	M-5308	〃　(K型)
	M-5312	周波数ユニット
	M-5313	直流電圧ユニット
M-5360 (2チャンネル用)	M-5320	温湿度ユニット
	M-5321	交流電圧・電流(クランプ)ユニット

3.標準仕様

(1) MODEL-5350(1チャンネル)/5360(2チャンネル)レコーダー単体

項　目	仕　様
記録方式	感圧打点式
入力容量	1mA/250mV 2mA/100mV 10mA/100mV
指示精度	最大目盛値の±2.0%
記録紙速度	3速……1インチ(25.4㎜)/h 12インチ(304.8㎜)/h 24インチ(609.6㎜)/h
打点間隔	(1チャンネル) 60秒…1インチ/h、5秒…12インチ/h、2.5秒…24インチ/h (2チャンネル) 20秒…1インチ/h、1.7秒…12インチ/h、0.8秒…24インチ/h
記録紙※	垂下式 2 1/2インチ(63.5㎜)×65.6フィート(20m) 巻取式 2 1/2インチ(63.5㎜)×32.8フィート(10m)
記録幅	50㎜(スケール長55.5㎜)
使用温度範囲	−10℃～50℃但し氷結は不可
電源電圧	AC100V、110～120V、200～240V、50Hz又は60Hz いずれかをご指定ください。
消費電力	約3.5VA
外形寸法，重量	96(W)×96(H)×162(D)㎜　約880g

※記録紙は標準として、下記50分割用が添付されています。
垂下式 No.5350-002
巻取式 No.5350-003
また標準スケールとして、0～100の50分割目盛付(No.ST-01)が実装されています。

- 2チャンネルタイプの入力は、マイナスコモンです。

(2) MODEL-5307/5308 6レンジ温度ユニット付レコーダー(1チャンネル)

項目	仕様	
	M-5307	M-5308
	Pt-100型温度センサー用	K型熱電対温度センサー用
入力レンジ (6レンジ)	−60～ 0℃ −50～100℃ −20～ 40℃ 0～ 60℃ 0～150℃ 0～300℃	600～1200℃ 300～ 600℃ 150～ 300℃ 0～ 150℃ 0～ 300℃ 0～ 600℃
精度※1	定格出力値の±2.0%	定格出力値の±3.0%
指示精度※2	最大目盛値の±3.0%	最大目盛値の±4.0%
スケール	No.T-13	No.T-12
記録紙	30分割{垂下式 No.5350-005 巻取式 No.5350-008	
電源電圧	AC100V、110～120V、200～240V、50Hz又は60Hz いずれかをご指定ください。	
外形寸法，重量	82(W)×82(H)×48(D)mm 約300g(ユニットのみ)	

※1.ユニット単体の精度、定格出力はDC1mA
※2.ユニットと本体を組合わせて調整した場合の精度、温度センサーの精度は含まない。

(3) MODEL-5312周波数ユニット付レコーダー(1チャンネル)

項目	仕様			
入力レンジ	55～65Hz	45～55Hz	45～65Hz	360～440Hz
精度※1	定格出力値の±1.5%			
指示精度※2	±0.2Hz	±0.2Hz	±0.5Hz	±2.0Hz
差動入力電圧範囲	AC80～500V			
スケール	No.F-01	No.F-02	No.F-03	No.F-04
記録紙	50分割{垂下式 No.5350-002 巻取式 No.5350-003		40分割{垂下式 No.5350-006 巻取式 No.5350-009	
電源電圧	AC100V、110～120V、200～240V、50Hz又は60Hz いずれかをご指定ください。			
外形寸法，重量	82(W)×82(H)×48(D)mm 約220g(ユニットのみ)			

※1.ユニット単体の精度、定格出力はDC1mA
※2.ユニットと本体を組合わせて調整した場合の精度

(4) MODEL-5313直流電圧ユニット付レコーダー(1チャンネル)

項目	仕様
入力レンジ	DC10mV/100mV/1V
精度※1	定格出力値の±1.5%
指示精度※2	最大目盛値の±2.0%
入力インピーダンス	全レンジ 1MΩ
スケール	No.ST-01
記録紙	50分割{垂下式 No.5350-002 巻取式 No.5350-003
電源電圧	AC100V、110～120V、200～240V、50Hz又は60Hz いずれかをご指定ください。
外形寸法，重量	82(W)×82(H)×48(D)mm 約320g(ユニットのみ)

※1.ユニット単体の精度、定格出力はDC1mA
※2.ユニットと本体を組合わせて調整した場合の精度

(5) MODEL-5320温湿度ユニット付レコーダー(2チャンネル)

項目		仕様
入力レンジ	温度	0～50℃
	湿度	10～90%RH
精度※1	温度	定格出力値の±4.0%
	湿度	
指示精度※2	温度	最大目盛値の±4.0%
	湿度	
スケール		No.TH-01
記録紙		50分割{垂下式 No.5350-002 巻取式 No.5350-003
電源電圧		AC100V、110～120V、200～240V、50Hz又は60Hz いずれかをご指定ください。
外形寸法，重量		82(W)×82(H)×48(D)mm 約310g(ユニットのみ)

※1.ユニット単体の精度、定格出力はDC1mA
※2.ユニットと本体を組合わせて調整した場合の精度
温湿度センサーの精度も含む。

(6) MODEL-5321交流電圧・電流(クランプ)ユニット付レコーダー(2チャンネル)

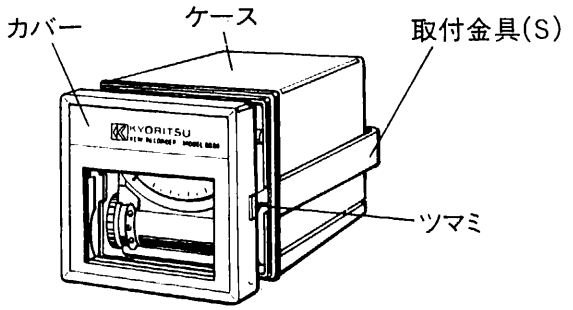
項目		仕様		
入力レンジ	交流電圧	AC150/300/600V(1KΩ/V)		
	交流電流	クランプアダプター(AC150mV)		
		M-8101	M-8103	M-8104
		AC6/15/60 150/300A	AC15/30/150 300/1500A	AC30/150/300 1500/3000A
精度※1	交流電圧	定格出力値の±2.0%		
	交流電流	定格出力値の±1.5%		
指示精度※2	交流電圧	最大目盛値の±3.0%		
	交流電流			
スケール		No.C-01		
記録紙		30分割{垂下式 No.5350-005 巻取式 No.5350-008		
電源電圧		AC100V、110～120V、200～240V，50Hz又は60Hz いずれかをご指定ください。		
外形寸法，重量		82(W)×82(H)×49.5(D)mm 約340g(ユニットのみ)		

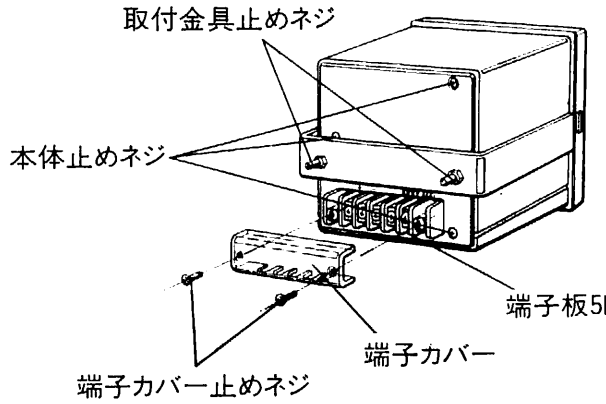
※1. ユニット単体の精度、定格出力はDC1mA
交流電流レンジはAC150mV入力に対する精度
※2. ユニットと本体を組合わせて調整した場合の精度
交流電流は、クランプアダプターも含めて調整する。

- 電圧、電流のチャンネル間はアイソレートされています。
- 交流電流レンジはAC150mVの電圧レンジとしても使用出来ますが、本体とアイソレートはされていませんので使用する場合は御相談下さい。

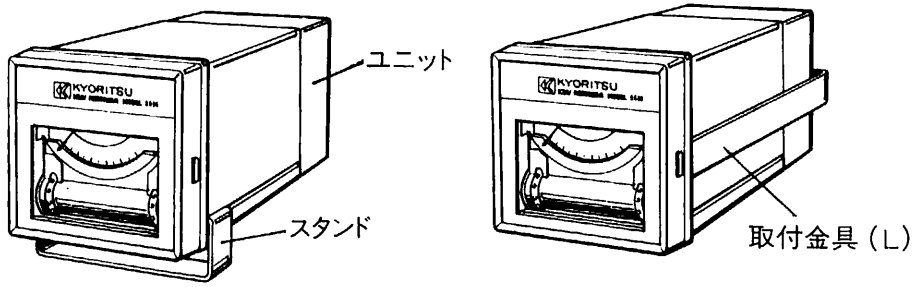
4. 各部名称

MODEL5350/5360レコーダー単体

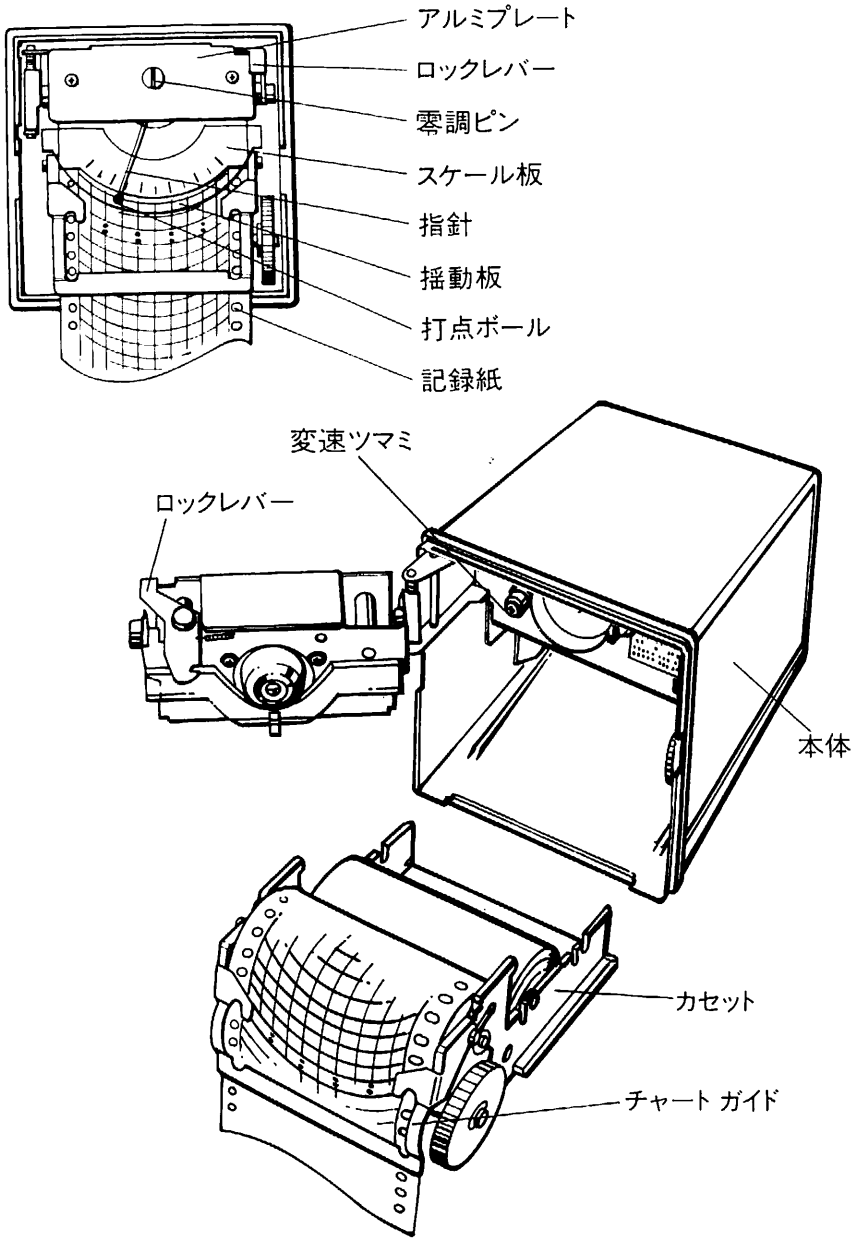




MODEL5351/5361ユニット付レコーダー

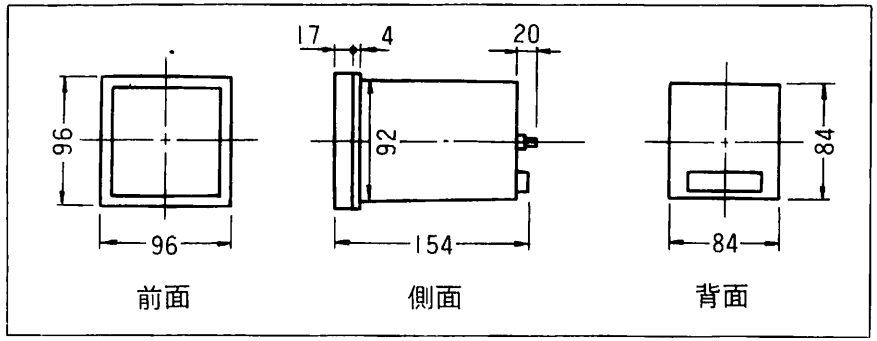


5.内部部品名称

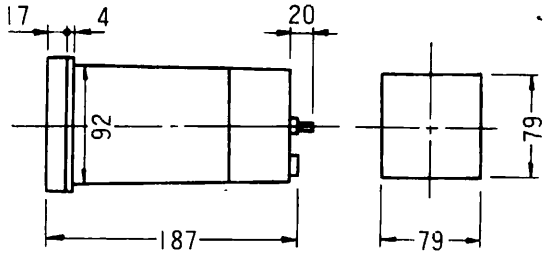


6.寸法および取付け

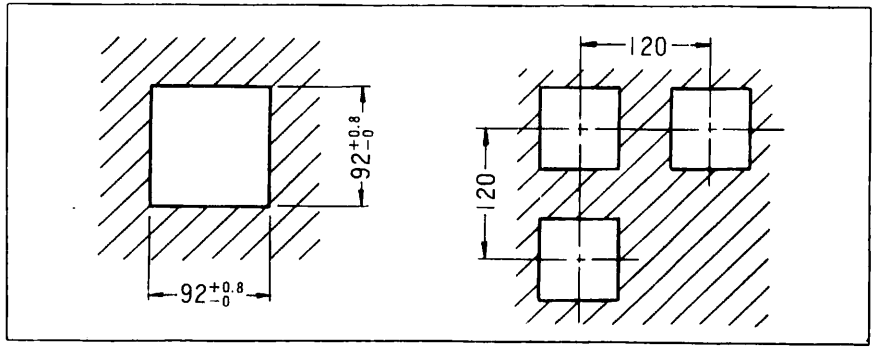
●外形寸法



●(ユニット付)

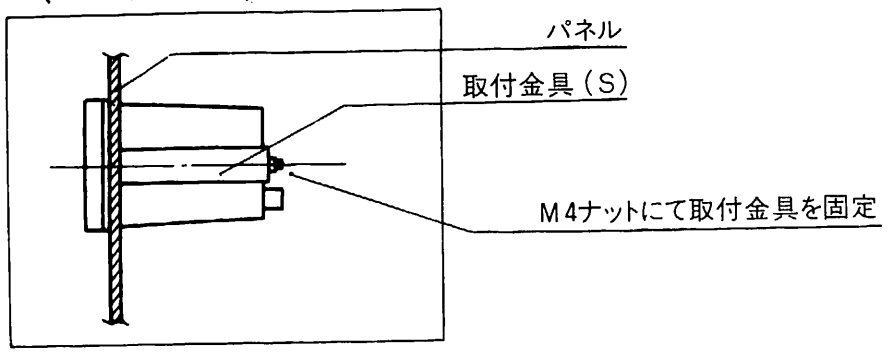


●パネルカット寸法

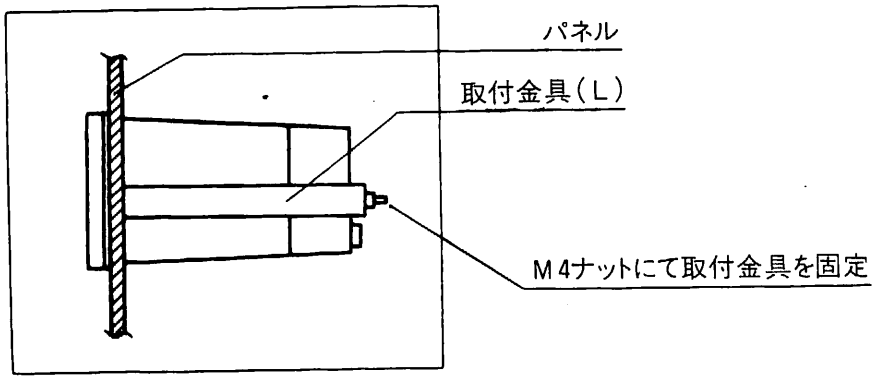


●取付け方法

(レコーダー単体)



(ユニット付レコーダー)



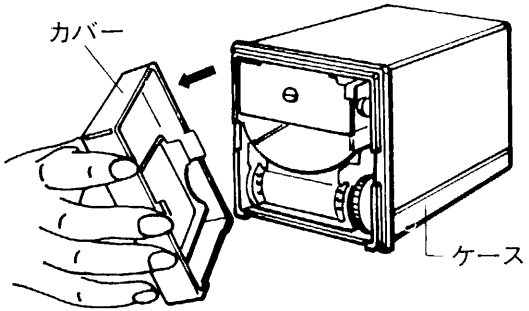
注意

- 取付金具は、パネル面に対して、垂直に取付けてください。
- 取付金具の固定位置は、パネルの厚さにより、異なりますので、M4ナットは締め過ぎないよう、注意してください。バネ座金がつぶれた時点から約½回転が、適当な締め付けトルクです。

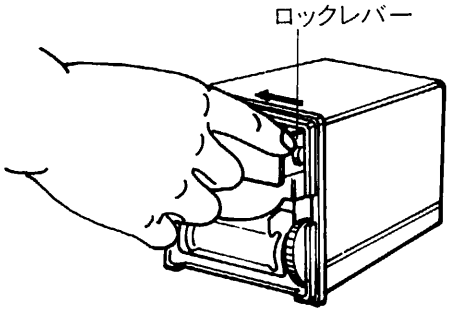
7.測定準備

(1)記録紙カセットの引き出し方

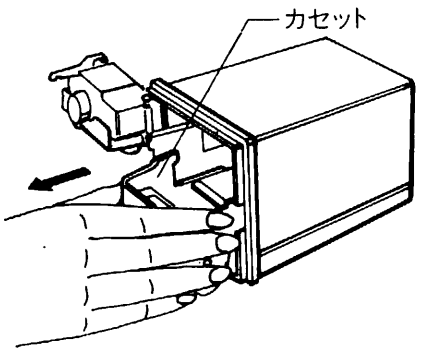
- 次の順序でカセットを引き出してください。



①カバーの両脇のツマミを押し込んで、カバーをケースより取外します。



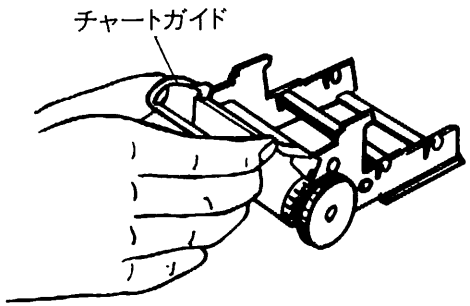
②カバーを取りましたら、メーター取付け部右上にあるロックレバーを左側に押し、そのままメーター取付け部を手前に出してください。



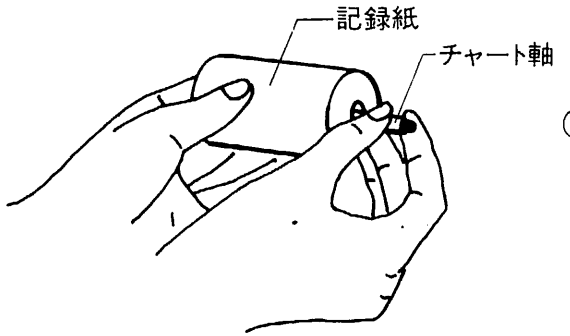
③次に、カセットの両脇を持ってケースから引き出してください。

(2)記録紙の入れ方

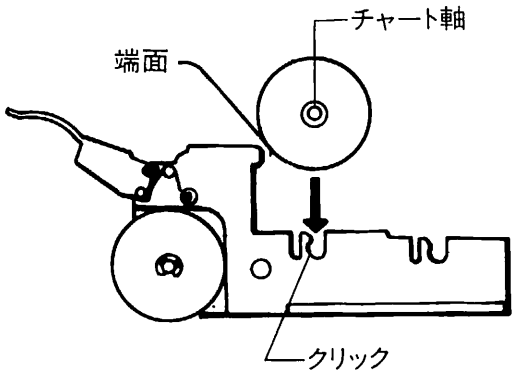
●垂下式



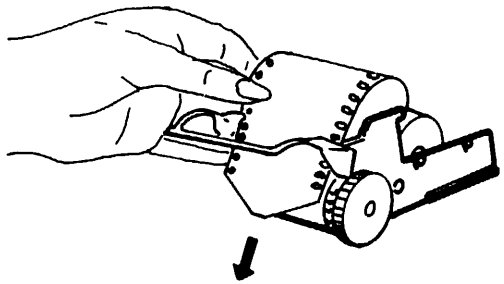
①カセットに付いているチャートガイドを、上に引き上げてください。



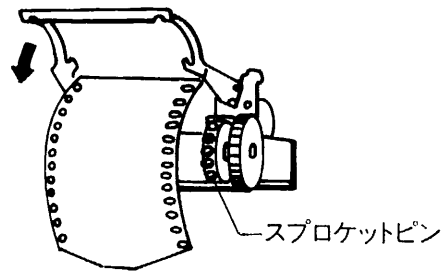
②記録紙のロールに、チャート軸を差し込みます。



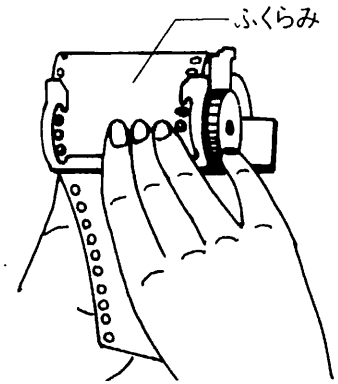
③チャート軸の入った記録紙を、紙の端面が下から上に向く様に、カセットのクリックにしっかりと押し込んでください。



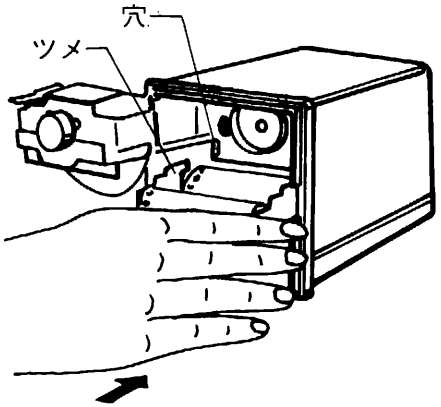
④記録紙を引き出して、カセットとチャートガイドの隙間に記録紙を入れてください。



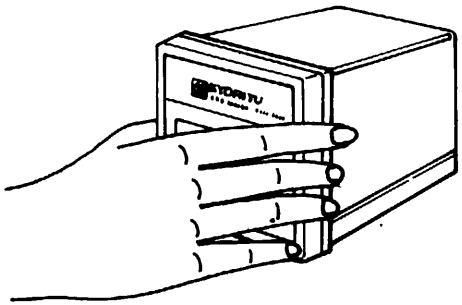
⑤スプロケットのピンと記録紙の穴を合わせ、チャートガイドをもとに戻して記録紙を押さえます。



⑥もしこの時、記録紙がチャートガイドの中心においてふくらむ様でしたら指の腹で押さえてふくらみをなくしてください。



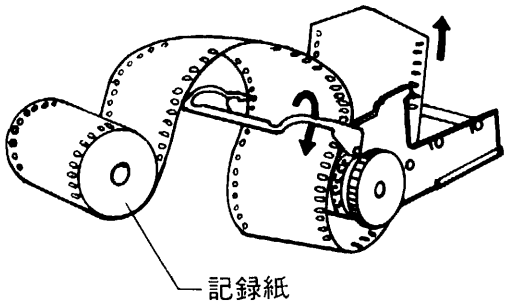
⑦⑥の状態で、カセットをケースに納めてください。その時、カセットのツメが内部の穴に納まる様に入れてください。



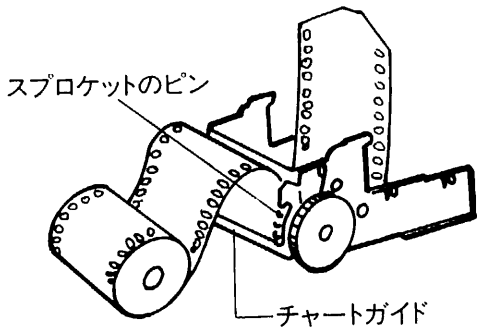
⑧メーター取付け部をもとの様に戻し、ロックレバーがロックされるのを確認してから、カバーを取付けます。

●巻取式

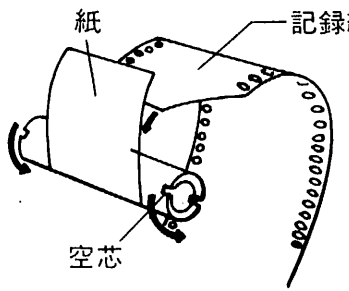
①測定準備の項(1)記録紙カセットの引き出し方①~③と同様の作業を行ってください。



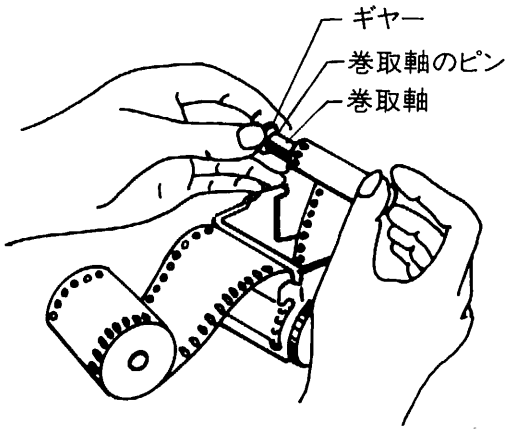
②記録紙をチャートガイドとカセットの隙間より入れ、カセットの下部を通して再び上に引き上げ、20~30cm程度引き上げてください。



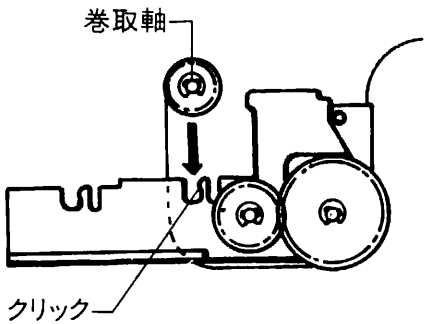
③記録紙の穴とスプロケットのピンを合わせてチャートガイドを戻し、記録紙を押さえます。



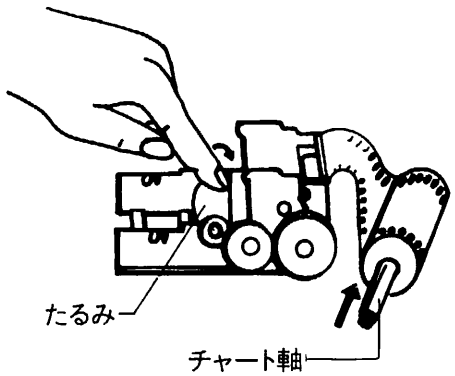
④②で引き出した記録紙を空芯と紙との間にはさみ込むようにし、記録紙を巻き込む方向に注意しながら、5~6回以上巻き込んでください。



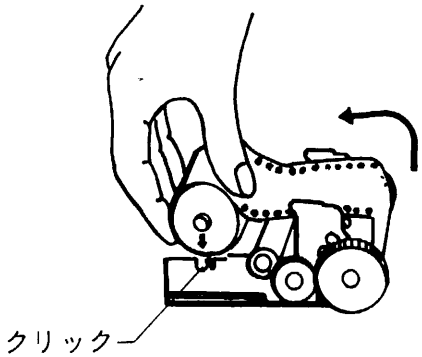
⑤空芯に記録紙を巻きつけたら、巻取軸のギヤーの方向に注意しながら、巻取軸のピンと空芯の切り込みがかみ合うように、巻取軸を差し込んでください。



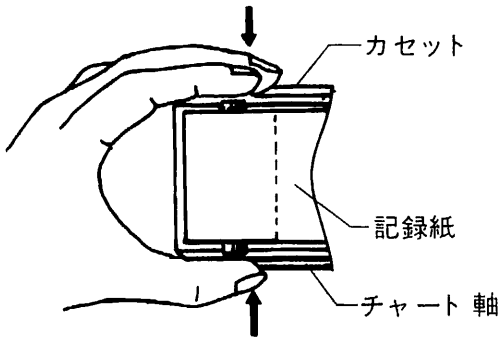
⑥そのまま記録紙がたるまない様に、巻取軸をカセットの溝にはめ込んでください。この時巻取軸がしっかりと溝部のクリックにはまる様にしてください。



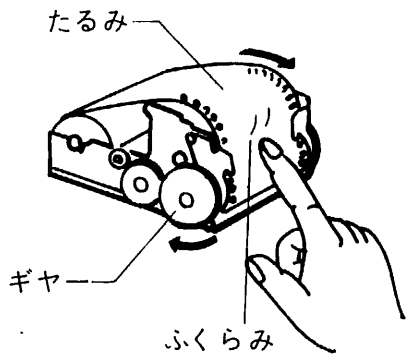
⑦記録紙にたるみができたら空芯を少し回してたるみを取り、記録紙のロールにチャート軸をはめ込みます。



⑧チャート軸を記録紙に差し込みましたら、記録紙をカセットの上から通し、チャート軸がしっかりとクリックにはまるように押し込んでください。



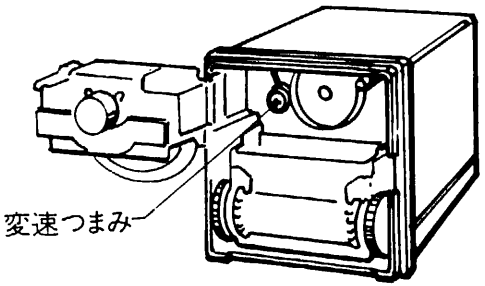
⑨カセットの両脇が広がったら、押し込んでもとに戻してください。



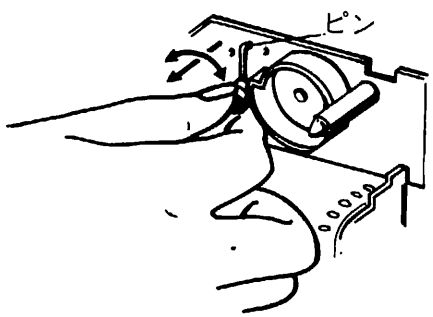
⑩カセットの上部で記録紙がたるんだ場合、両脇のギヤーを回してたるみをなくしてください。また、チャートガイド中央部にふくらみができたら、指で押してふくらみを取ってください。

⑪これで記録紙の取付けは終りです。あとは、記録紙の入れ方⑦⑧の作業をしてください。

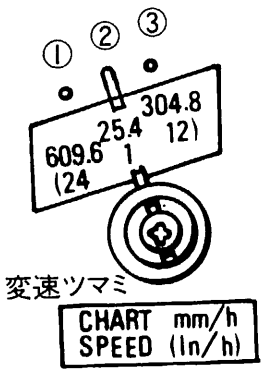
(3)記録紙送り速度の設定



①カバーを取り、メーター取付け部を引き出しますと、本体内部に変速つまみが見えます。



②変速つまみを手前に引きながら左右に回し、ピンを任意の速度表示の穴に固定してください。つまみがつかみにくい場合は、カセットを引き出せばやりやすくなります。



①609.6mm/h
(24インチ/h)
②25.4mm/h
(1インチ/h)
③304.8mm/h
(12インチ/h)

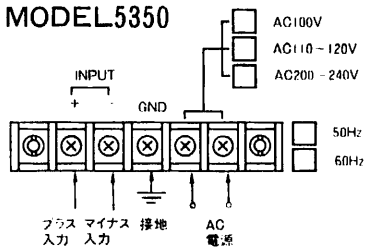
③変速の表示は次のとおりです。なお、出荷時には24インチ/h(609.6mm/h)にセットされています。

8.配線及び測定方法

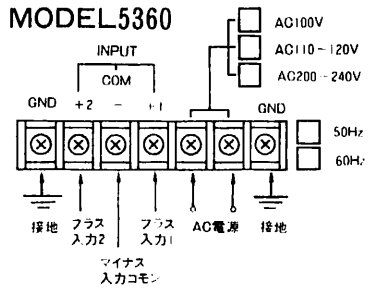
(1) レコーダー単体

●配線

(1チャンネル)



(2チャンネル)



●測定方法

① メータのゼロ位置を調整してください。方法は、アルミプレート上の零調ピンをマイナスドライバーで回して行ってください。(8頁5.内部部品名称参照)

② 入力端子に入力を配線してください。この際、入力信号の大きさを確認し、過大入力にならない様、充分な注意をしてください。

尚、入力投入により、メータは動作しますが、これは記録紙の動作とは関係なく、電源を投入しない場合は、パネルメータとして使用できます。

2チャンネルの場合は、メータは入力1および2のどちらかを指示します。

(注)指針が、揺動板に押された状態の時は、メータの指示は動きません。この場合は、電源を投入し、揺動板が持ち上がるのを待ってから行ってください。

③ 記録紙が正しくセットされていることを確認してください。

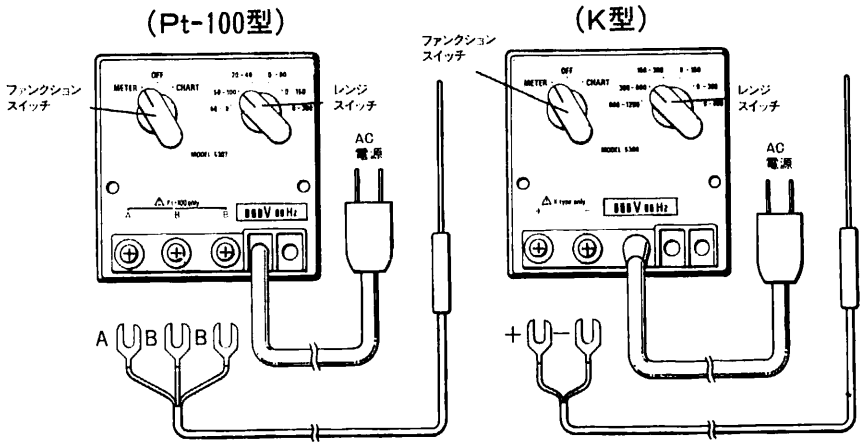
④ 電源を投入してください。記録が開始されます。
2チャンネルの場合は、入力1および2が交互に記録されます。3打点のうち入力1が1打点、入力2が2打点記録され、入力1の方は薄く、入力2の方は濃く記録が残ります。

使用上の注意

- メータ本体および指針は、入力のマイナス（コモン）側と同電位になります。
入力を接続する場合は、マイナス（コモン）側に低電位側を接続してください。もし、止むを得ぬ理由で高電位側を接続した場合は、通電中はパネルを開けない様にしてください。入力のマイナス(コモン)側とGNDの耐圧は、AC500 VMAXです。絶対に越えない様にしてください。また、50V以上の電圧が印加されますと、感電の恐れがありますので、絶対にメータ本体および指針にはさわらないでください
- 2チャンネルの場合、記録速度24インチ(609.6㎜)/hで使用する場合は、打点間隔が0.8秒と短いため、入力によってはメータが追従できないことがあります。特に、入力1と入力2の差が大きいときに影響が現れ、入力2の2打点間に誤差が生じる場合があります。よって、メータの動作をよく確認の上、ご使用ください。
尚、電圧を抵抗で分圧して入力した場合は、メータの応答速度は速くなり、逆に電流をシャントで分流して入力した場合は、メータの応答速度は遅くなります。

(2) 温度レコーダー(ユニットMODEL5307/5308)

●配線



Pt-100型温度センサー　　K型熱電対温度センサー

●測定方法

① メータのゼロ位置を調整してください。(方法は、レコーダー単体と同じ)

② 温度センサーを本体の表示通りに配線し、被測定物にセットしてください。

③ ファンクションスイッチがOFFの位置にあることを確認し、電源を投入してください。

④ ファンクションスイッチをMETERの位置にセットすれば、メータが測定温度を指示します。測定範囲を越えている場合は、レンジスイッチにより、適正なレンジを選んでください。

(注)指針が、揺動板に押された状態の時は、メータの指示は動きません。この場合は、ファンクションスイッチをCHARTの位置にして、揺動板が持ち上がるのを待ってからMETERの位置にもどしてください。

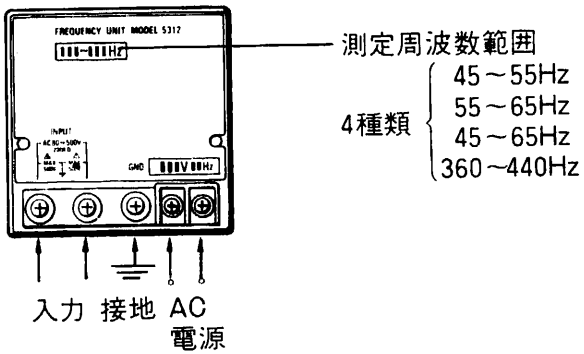
⑤ 記録を行う場合は、記録紙が正しくセットされていることを確認の上、ファンクションスイッチをCHARTの位置にセットしてください。

使用上の注意

- 温度センサーは、必ず絶縁タイプを使用してください。入力端子は、GNDとほぼ同電位です。
- オプションのKタイプ温度センサー(M-8068/8069)は、600℃以上の測定には使用しないでください。600℃以上の測定をする場合は、高温用のセンサーが必要になりますので、その場合はご相談ください。
- アースリード線は必ず接地してください。

(3) 周波数レコーダー(ユニットMODEL5312)

●配線



●測定方法

① メータのゼロ位置を調整してください。(方法は、レコーダー単体と同じ)

② 入力を配線してください。入力範囲は、AC80～500Vです。

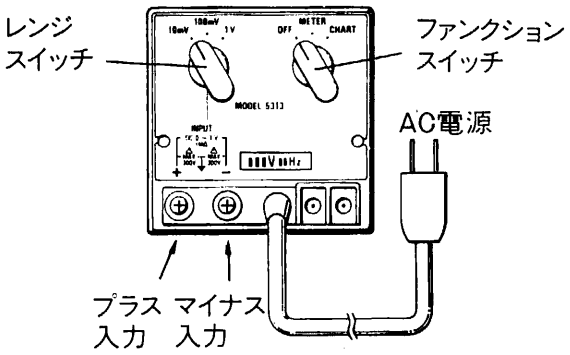
③ 記録紙が正しくセットされていることを確認の上、電源を投入してください。記録が開始されます。

使用上の注意

- GND端子は必ず接地してください。入力端子とGND端子の耐圧は、MAX AC500Vです。

(4) 直流電圧レコーダー(ユニットMODEL5313)

●配線



●測定方法

① メータのゼロ位置を調整してください。(方法は、レコーダー単体と同じ)

② 入力端子に入力を配線してください。この際、入力信号の大きさを確認し、レンジスイッチにより、適正なレンジを選んでください。また、入力が過大入力にならない様、充分な注意をしてください。

③ ファンクションスイッチがOFFの位置にあることを確認し、電源を投入してください。

④ ファンクションスイッチをMETERの位置にセットすれば、メータが動作します。

(注)指針が、揺動板に押された状態の時は、メータの指示は動きません。この場合は、ファンクションスイッチをCHARTの位置にして、揺動板が持ち上がるのを待ってからMETERの位置にもどしてください。

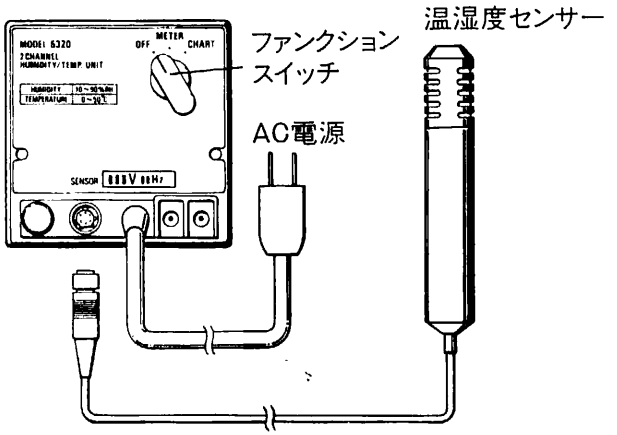
⑤ 記録を行う場合は、記録紙が正しくセットされていることを確認の上、ファンクションスイッチをCHARTの位置にセットしてください。

使用上の注意

- メータ本体および指針は、入力のマイナス側とほぼ同電位になります。
  入力を接続する場合は、入力の同相電圧に注意してください。入力端子とGNDの耐圧は、MAX AC300Vです。
- アースリード線は必ず接地してください。

(5) 温湿度レコーダー(ユニットMOEL5320)…2チャンネル

●配線



●測定方法

① メータのゼロ位置を調整してください。(方法は、レコーダー単体と同じ)

② 温湿度センサーを本体のコネクターに接続し、被測定場所にセットしてください。

③ ファンクションスイッチがOFFの位置にあることを確認し、電源を投入してください。

④ ファンクションスイッチをMETERの位置にセットすれば、メータは、温度及び湿度のどちらかを指示します。

(注)指針が、揺動板に押された状態の時は、メータの指示は動きません。この場合は、ファンクションスイッチをCHARTの位置にして、揺動板が持ち上がるのを待ってからMETERの位置にもどしてください。

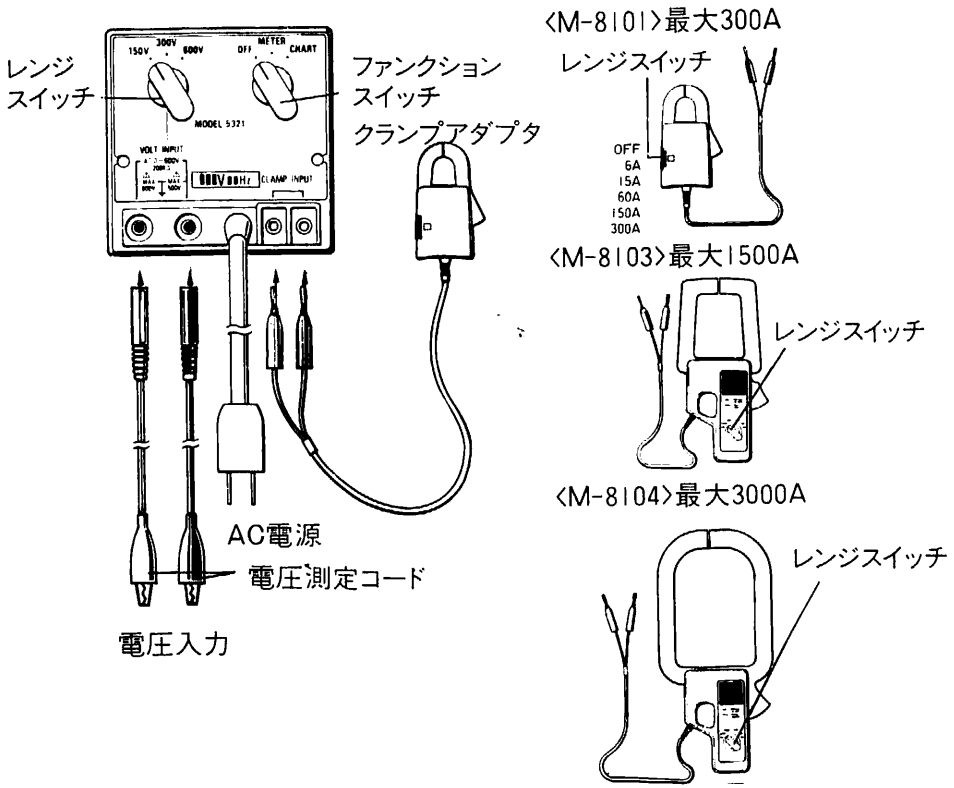
⑤ 記録を行う場合は、記録紙が正しくセットされていることを確認の上、ファンクションスイッチをCHARTの位置にセットしてください。
記録は、3打点のうち温度が1打点、湿度が2打点交互に行われます。記録紙上には温度が薄く、湿度は濃く記録が残ります。

使用上の注意

- 温湿度センサーは、塵埃の多い場所、風が強く当たる場所、露点する恐れのある場所での使用はできるだけ避けてください。
- 温湿度センサーを、直接水に浸漬したり、激しい衝撃を与えたりすることは、絶対に避けてください。

(6) 交流電圧・電流(クランプ)レコーダー(ユニットMODEL 5321)…2チャンネル

●配線



●測定方法

① メータのゼロ位置を調整してください。(方法は、レコーダー単体と同じ)

② VOLT INPUT端子に電圧測定コード(MODEL7051)、CLAMP INPUT端子にクランプアダプターをそれぞれ接続

してください。この際、レンジスイッチは、600Vにセットし、クランプアダプターのレンジスイッチは、最大レンジにセットし、それぞれ被測定物に接続してください。

③ ファンクションスイッチがOFFの位置にあることを確認し、電源を投入してください。

④ ファンクションスイッチをMETERの位置にセットすれば、メータは、電圧及び電流のどちらかを指示します。

(注)指針が、揺動板に押された状態の時は、メータの指示は動きません。この場合は、ファンクションスイッチをCHARTの位置にして、揺動板が持ち上がるのを待ってからMETERの位置にもどしてください。また、メータの振れを見ながら電圧及び電流のレンジを最適レンジにセットしてください。電圧及び電流の指示の切換えは、ファンクションスイッチをCHARTの位置にして行ってください。

⑤ 記録を行う場合は、記録紙が正しくセットされていることを確認の上、ファンクションスイッチをCHARTの位置にセットしてください。
記録は、3打点のうち電圧が1打点、電流が2打点交互に行われます。記録紙上には電圧が薄く、電流は濃く記録が残ります。

使用上の注意

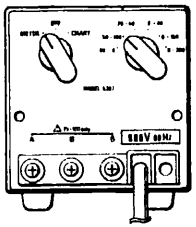
- CLAMP INPUT端子には、クランプアダプター以外の入力は、絶対に接続しないでください。
- VOLT INPUT端子とGNDの耐圧は、MAX AC500Vです。
- アースリード線は必ず接地してください。

9.別売アクセサリー

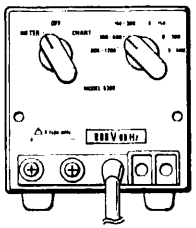
● **2チャンネルキット**
MODEL8070

1チャンネル用レコーダー(MODEL5350)を2チャンネル用に、変更するためのキットです。

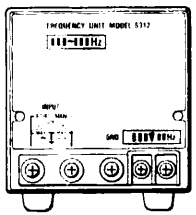
●各種ユニット(標準1mA/250mVタイプに取付可能)



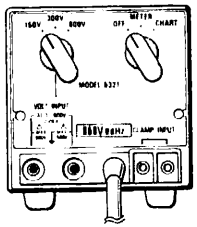
6レンジ温度ユニット(Pt-100Ω)
(1チャンネル用) MODEL5307



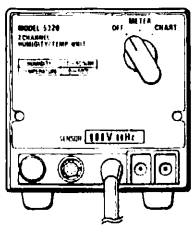
6レンジ温度ユニット(K)
(1チャンネル用) MODEL5308



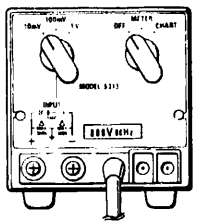
周波数ユニット(1チャンネル用)
MODEL5312



直流電圧ユニット(1チャンネル用)
MODEL5313



温湿度ユニット(2チャンネル用)
MODEL5320



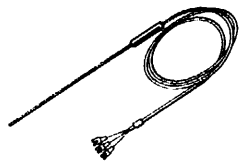
交流電圧電流(クランプ)ユニット
(2チャンネル用) MODEL5321

●携帯ケース
MODEL9047



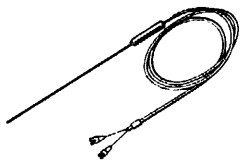
ユニット付レコーダー(MODEL5351/5361)専用の携帯ケースです。ケースに入れたままの状態でレコーダーを使用することが可能です。

●Pt-100型温度センサー
MODEL8067



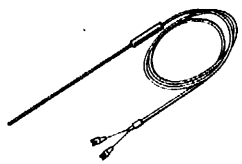
使用抵抗素子	Pt-100Ω/0℃ CLASS 0.5
使用温度範囲	−200～300℃
寸法・材質	φ3.2×150ℓ SUS316 メタルサポート
リード線	ビニールリード3m

●K型温度センサー
MODEL8068



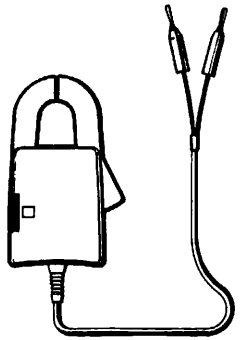
使用熱電対素線	CA クロメル・アルメル CLASS 0.75
使用温度範囲	0～600℃
寸法・材質	φ1.6×150ℓ SUS316 樹脂サポート
リード線	ビニールリード3m

●K型温度センサー
MODEL8069



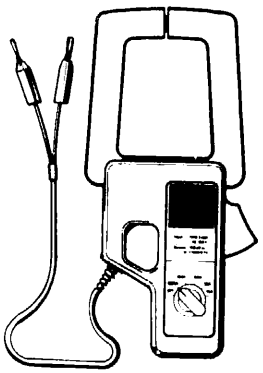
使用熱電対素線	CA クロメル・アルメル CLASS 0.75
使用温度範囲	0～700℃
寸法・材質	φ3.2×150ℓ SUS316 メタルサポート
リード線	ガラスウールリード3m

●クランプアダプター MODEL8101



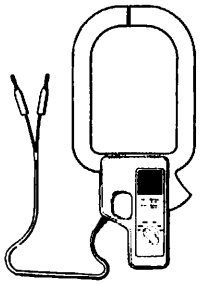
測定範囲	0～6/15/60/150/300A AC
出力電圧	0～6/15/60/150/300A AC入力に対してAC 0～150mV
精度	定格出力値の2％
周波数範囲	45～65Hz
負荷抵抗	100KΩ以上
出力コード	5m φ4mmのバナナプラグ付
外形寸法	75×125×35mm
重量	約220g
被測定導体径	最大径φ20mm

● クランプアダプター MODEL8103



測定範囲	0～15/30/150/300/1500A AC
出力電圧	0～15/30/150/300/1500A AC入力に対してAC 0～150mV
精度	定格出力値の2％
周波数範囲	45～65Hz
負荷抵抗	100KΩ以上
出力コード	5m φ4mmのバナナプラグ付
外形寸法	119×242×34mm
重量	約500g
被測定導体径	最大径φ55mmまたは50×75mm(ブスバー)

●クランプアダプター MODEL8104



測定節囲	0～30/150/300/1500/3000A AC
出力電圧	0～30/150/300/1500/3000A AC入力に対してAC 0～150mV
精度	定格出力値の2％（3000Aは4％）
周波数範囲	45～65Hz
負荷抵抗	100KΩ以上
出力コード	5m φ4mmのバナナプラグ付
外形寸法	150×317×34mm
重量	約950g
被測定導体径	最大径φ100mm

10.ユニットの接続方法

ユニット単体で購入された場合は、下記手順にて、レコーダーとの接続を行なってください。

●接続方法

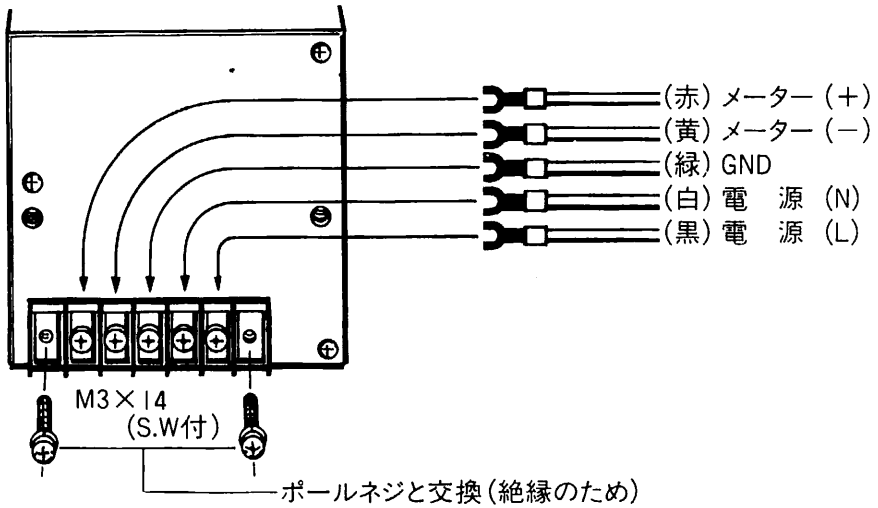
(1) レコーダー本体の端子に接続されている端子カバーを取りはずしてください。

(2) 端子板の左右を固定しているポールネジを添付のネジ(M3×14SW付)に交換してください。

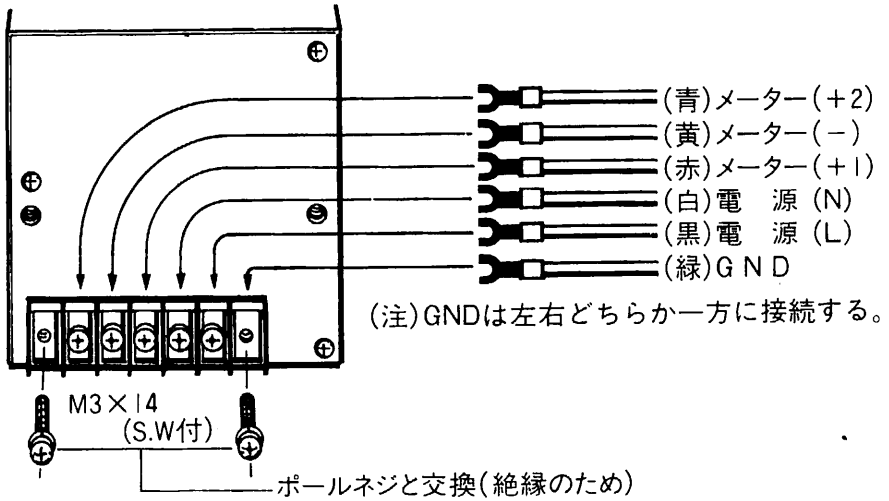
(3) ユニットからのリード線を色をまちがえない様に端子に接続してください。

(注)接続の際、リード線は必らず、上側から差し込んでください。

(1チャンネル用)

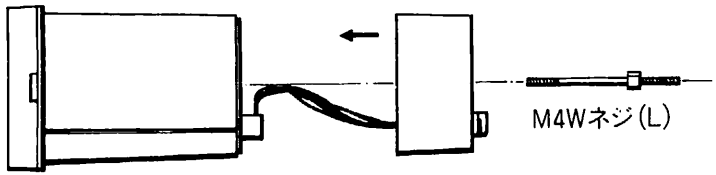


(2チャンネル用)

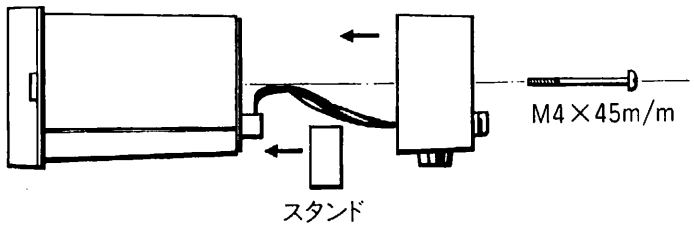


●本体取付方法

(パネル取付型)

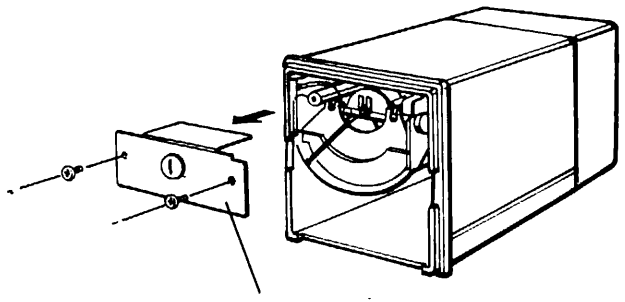


(ポータブル型)

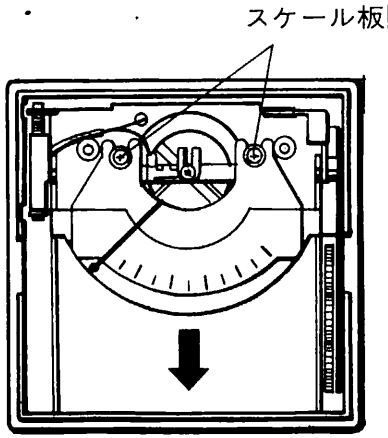


11.スケール板の交換方法

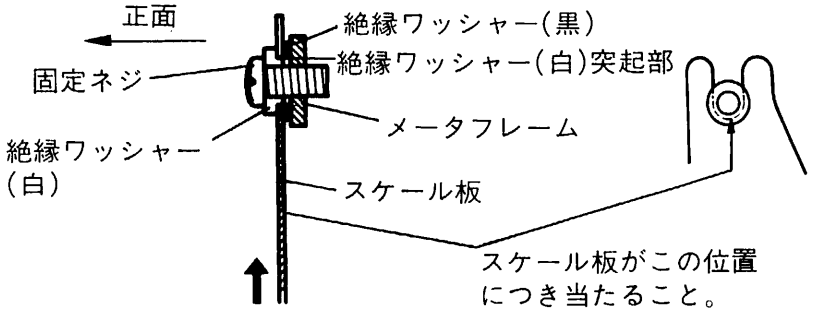
(1) アルミプレートを固定しているネジを⊕ドライバーで外し、アルミプレートを取外してください。(この際、カバー及びカセットは取外しておく)



(2) スケール板を固定しているネジをゆるめ（外す必要はない）スケール板を下へ抜き取ってください。この際指針をひっかけない様注意してください。



(3) 交換するスケール板を用意し、②と逆の要領で、固定ネジに下側から差し込み、ネジを締め付けてください。この際スケール板は、固定ネジにある2つの絶縁ワッシャーの間に差し込み、スケール板のミゾが絶縁ワッシャー（白）の内側突起部につき当たる位置で固定してください。

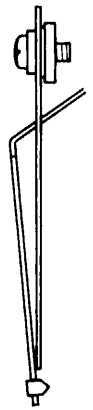


スケール板を挿入する際、下記の状態にならない様注意してください。

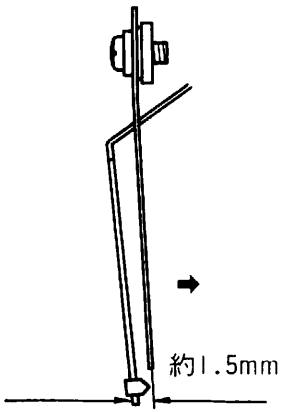


左図の様に、スケール板が、絶縁ワッシャー（白）の突起部分につき当たらず、その内側に入り込んで、ネジに当たった状態で固定してしまう。この状態ではスケール板の絶縁ができません。

(4) 新品のスケール板をそのまま取付けると、メーターフレームに傾斜があるため、下記の様に、スケール板が指針にぶつかった状態になります。



スケール板を内側に押し曲げ、指針との間隔を、下記の様に調整してください。押し曲げる際は、ゼロ側、フルスケール側を均等に曲げる様注意してください。



指針との間隔の目安としては、
スケール板の上面が、打点ボールの
先と同一平面上の位置になる程度。

(5) アルミプレートを取り付け、ネジ止めしてください。

(6) カセットに記録紙を実装し、本体にセットしてください。
スケール板と、記録紙の間隔をチェックし、スケールの曲げ過ぎがないか確認してください。
スケール板が記録紙にふれている場合は、運転時に記録紙にキズがつくことがあるので、再度スケール板の曲げ具合を調整してください。
スケール板と記録紙の間隔は、0.3～0.5㎜程度。

12.記録紙

● 記録紙一覧表

	目盛分割	長　さ	No.
垂下式	50	10m(連続15日)	5350-001
	50	20m(連続30日)	5350-002
	40	20m(連続30日)	5350-006
	30	20m(連続30日)	5350-005
	25	20m(連続30日)	5350-004

	目盛分割	長　さ	No.
巻取式	50	10m(連続15日)	5350-003
	40	10m(連続15日)	5350-009
	30	10m(連続15日)	5350-008
	25	10m(連続15日)	5350-007

(注)連続日数は、1インチ/hの速度で使用した場合です。

メモ

当説明書に記載されている事項を無断にて変更することもありますので、御諒承ください。